

蓮華会と蛙飛び行事

金峯山寺では7月上旬に蛙飛び行事が行われます。蛙飛び行事は、金峯山寺の毎年恒例の三大伝統行事の中で最も人目を引きま

蛙飛びは蓮華会という法要の一部です。蓮華会では、伝統的な衣装を身にまとった修験道の行者たちが奥田にある池のハスの花を採り、金峯山寺の本尊である蔵王権現に供えます。その後、蔵王堂の前の長い舞台の上を、鮮やかな緑色の蛙の衣装を着た男性が本堂に向かって跳ねながら進み、祈祷を受けます。

蛙飛び行事は、ある男が仏神を侮辱したので、高い山の頂上に置き去りにされました。しかし男が後悔したので、金峯山寺の高僧が男をカエルの姿に変え、蔵王権現の前で法力によって人間に戻したという伝説に基づいています。

この祭りでは、「蛙」役は地元の男性たちが運ぶ台に乗って寺まで上ります。蔵王堂に到着すると、蛙役は修験道の行者や僧侶たちの読経の中、跳ねながら三回行ったり来たりします。最後に、充分反省した蛙は人間の姿に戻されます。表向きには少々滑稽に見えるかもしれませんが、この行事は、かつての修験道の行者が、宗教的な能力を競い合う様子を表現しています。